



発行者  
諫早市立真城中学校  
校長 山内 昇

### 学校教育目標

- 広い心と公正な判断力のある、情操豊かな生徒を育成する。（徳育）
- 自ら求めて学び、豊かな知性を備え、創造力に富む生徒を育成する。（知育）
- 健康でたくましく、忍耐力に富む生徒を育成する。（体育）

### ○ 朝の風景から

真城中の朝は、校門を通過して多くの生徒が登校します。その際、給食関係の車が登校する生徒と交差する場面があります。もちろん、車側は、生徒が通過するまで一時停車し、安全を確認してから校舎の裏側へ移動します。先日、その場面で、3年生の女子生徒が、車両の前を通過した後、**振り返って運転手さんに向かって一礼する**姿を見かけました。私は、玄関付近からその様子を見ていましたが、当たり前のように**自然に振る舞う**姿に感心しました。その後、生徒玄関に差し掛かったとき、その3年生は、さわやかな**「おはようございます」**のあいさつをして、校舎に入っていました。

「**立ち振る舞い（たちふるまい）**」という言葉があります。流行のAIにたずねてみると、

「立ち振る舞い」とは、日常の動作における身のこなしや態度を指す言葉です。本来は「立ち居振る舞い（たちいふるまい）」と表記し、立ったり座ったりといった日常動作全般を表しますが、現在では「立ち振る舞い（たちふるまい）」と表記されることも一般的です。就職活動やビジネスシーン、日常生活において、相手に良い印象を与えるためのマナーや態度を指すことが多いです。よい「立ち振る舞い」を身に付けておくことは、自分にとって大きなプラスとなるはずです。

真城中学校でも、生徒同士が安心して生活することができ、いろいろなことに失敗を恐れずに挑戦できる環境をつくりたいと考えています。そのためには、「立ち振る舞い」が大切なキーワードになると思います。また、最近のはやりの言葉で言えば、「**ソーシャルスキル**」とも共通する部分が多いと思います。

ここで紹介した3年生の生徒のように、自然とできている当たり前だと素晴らしい行動を、たくさん紹介していきたいと考えています。



文化委員会（2-2）制作の9月のパネルです。「同じ月を見上げて」という言葉に共感しました。

## ○ 「夏の思い出」の絵日記

夏休みの美術科の課題で、夏休みの思い出を絵日記として発表しています。

生徒玄関の廊下に展示している作品のうち、いくつかを紹介します（1年1組）。多くの素晴らしい作品があるので、たくさん紹介できたらと考えています。



これらの絵日記から、長い夏休みの中で、たくさんのできごとがあり、様々な思い出ができたのだということが伝わってきました。

たくさんのできごとを通して、子どもたちは成長しているのだと思います。夏休みを終えて、一人一人がたくましく感じる人が多いです。

次回は、1年2組を紹介します。

## ○ 様々な人が学校の教育活動を支えています！

9月に入り、少し暑さが和らいだように感じますが、日中はエアコンがないと過ごすことはできません。夏季休業中に、2人の用務員さんがエアコンの室外機に直射日光が当たりにくくなるような工夫をしてくださいました。真城中は西日が室外機を直撃するので、午後から教室が冷えないことが多いです。少しでも快適になればという思いで、暑い中に作業をしていただきました。本当にありがとうございました。

